

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	分別収集事業						担当部	環境交通部			
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	リサイクルプラザ				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	清掃資源係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		1 3Rを推進する					
		副目的										
	予算区分	款	4	項	2	目	2	大	4	中	2	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例										
	実施・運営方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/> 地域住民組織			<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
		指定管理・外郭団体			名称:							
		NPO・その他			名称:							
目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民生活から排出されるごみ・資源を分別収集して適正に処理するために効率的な収集体制を確保する。											
内容 (手段)	<p>燃やさないごみ、空きびん、空き缶、ペットボトル、蛍光管類、廃食用油、粗大ごみは、市直営で収集を行った。</p> <p>また、燃やすごみ、プラスチック製容器包装、金属類、古紙・古布については、5業者に収集委託した。現業職員構成の変化に対応した班編成を実施した。</p> <p>(平成23年4月1日現在集積場数、燃やすごみ2900箇所、燃やさないごみ・資源ごみ1709箇所、古紙・古布・蛍光管966箇所)</p> <p>●直営での収集 燃やさないごみ、空き缶、空きびん、ペットボトル、粗大ごみ、蛍光管、こまやか収集</p> <p>●委託状況 燃やすごみ・プラスチック製容器包装(ミナミ産業、ビホク、大成環境、第一環境)、金属類(ミナミ産業)、古紙・古布(小牧古紙リサイクル協同組合)</p>											
受益者負担		内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	363,365	385,705	396,533	
		正職員	従事者数	人	18.50	17.60	11.60
			人件費	千円	99,252	94,424	62,234
		その他職員	従事者数	人	12.00	18.30	19.30
			人件費	千円	23,731	43,712	46,126
		費用合計		千円	486,348	523,841	504,893
	対前年比		%		107.7		
財源	一般財源	千円	416,052	483,862	471,442		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	70,296	39,979	33,451		

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		家庭から排出されるごみ・資源総量 (うち資源量)	t	目標			—
実績					35000(9282)	34244(9055)	
ごみ・資源収集日数	日	目標					
		実績			309	312	
		目標					
		実績					
績	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23
		家庭から排出されるごみ・資源総量 (うち資源量)	t	目標			
実績					35000(9282)	34244(9055)	
		目標					
		実績					

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	市民生活から排出されるごみ・資源を分別収集して適正に処理するため、効率的な収集運搬体制を確保した。				
	事業を廃止・休止したときの影響	市民生活から排出されるごみ・資源が収集されず衛生環境が悪化する。				
	判定	C	市が実施(民間委託等の検討)			
	判定理由	市民生活から排出されるごみ・資源の収集運搬は順調に行われているが、正規職員数の退職に伴いこれを補完するための委託化を、災害による緊急時の対応等に配慮しつつ検討していく必要がある。				
今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	正規職員、再任用職員、臨時職員の、3種類の勤務時間が異なる職員が収集にあたるため最も効率の良い班編成とするよう努める。					

二次評価	判定	C	市が実施(民間委託等の検討)			
	判定理由	一次評価のとおり				